# 経営比較分析表(令和3年度決算)

### 岐阜県中津川市 総合病院 中津川市民病院

ANTANA LALVINIA AND MANAGEMENT	I ALAM I TO SERVICE			
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	非設置
経営形態	診療科教	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド 透 訓 ガ	救 臨 災 輪
人口 (人)	建物面積(mi)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
76, 348	25, 973	-	第2種該当	7 : 1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)	
360	-	-	
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)	
-	- 360		
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)	
310	ı	310	

- グラフ凡例
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

地域において担っている役割

性期・高度医療の一部を当院が担っている。

経営の健全性・効率性について ①昨年度に引き続き改善はしているが、全国的に も同じ状況であるように、国、県補助金等の医業 外収益が大幅に増加した影響が大きい。

②医業収益は昨年度に比べ新型コロナウイルス感 染症の流行による受診控えが減少したことにより 増加し、医業費用は固定資産の減価償却終了にと

もなう減価償却費の減少等により減少し、医業収

が、依然として類似病院の平均値より悪い状況で

あり、収支の改善をより一層図っていく必要があ

④病床利用率については昨年度に引き続き新型コ

ロナウイルス感染症による影響が大きいと考え

⑤入院患者1人1日当たりの収益はアブレーショ

ン等の高度医療の収益が増加したことや新型コロ

ナウイルス感染症患者受入に伴う加算等の影響に

⑥外来患者の1人1日当たりの収益については化

学療法の実施件数の増加の影響により増加してい

⑦研修医や看護師の減員等により給与費が減少し

⑧高度医療や化学療法の実施数の増加等による影

①建物が平成元年竣工ということもあり年々比率

は増加している。令和4年度より市民病院の今後

のあり方を検討する「中津川市公立病院あり方検 討委員会」により建物更新等について検討してい ②器械備品減価償却率についても資金的な問題も あり更新が進んでいない。院内に設置する機器更 新に関する委員会を中心に更新計画を立て、順次

③全国平均値、類似病院平均値より下回っている が、昨年度に引き続き増加の傾向にあるため、固 定資産の取得、更新に関しては、院内において慎

重に検討し、計画を立て、それに従い固定資産の

③累積欠損金比率は昨年度に引き続き改善した

機関の中心的役割を果たしている。

Ⅱ 分析欄

支比率は改善した。

より増加していると考える。

ことにより減少した。

2. 老朽化の状況について

響により増加している。

市内の他の医療機関等と綿密な連携を図り、症

総合病院の利点を活かした専門性を有する質の

高い高度医療を提供する医療機関として東濃東部

地域の中核病院として役割を果たすと共に、新型

コロナウイルス感染症対応に関しても市内の医療

状の軽い医療は地域の医療機関が担い、重篤な急

再編・ネットワーク化 地方独立行政法人化 指定管理者制度導入

年度

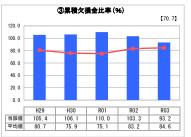
【】 令和3年度全国平均

- ※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン (放射線) 診療
- ※2 教・・・教念告示病院 臨・・・臨床研修病院 が・・がん診療連携拠点病院 感・・・感染症指定医療機関 へ・・・へき地医療拠点病院 災・・・災害拠点病院 地・・・地域医療支援病院 特・・特定機能病院 輪・・・病院群輪番制病院

## 1. 経営の健全性・効率性



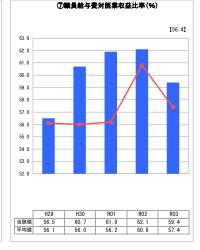


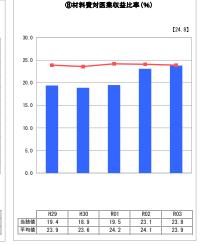




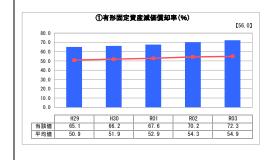
# ⑤入院患者1人1日当たり収益(円) [59, 287] 70.000 40, 000 20,000 10.000 H29 H30 R01 R02 R03 当該値 47,944 49,039 49,840 56,875 57,589 平均値 50,958 52,405 53,523 57,368 59,838

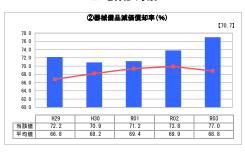






### 2. 老朽化の状況







更新を進めている。

更新等を行っていく。

R3年度に関してはR2年度に引き続き、新型コロ ナウイルス感染症に関する補助金等の医業外収益 により経営収支 練捐益は井にプラスとなってい るが、医業収支は改善の余地があり、今後もより -層の費用削減と収益の確保に努める必要があ

また、施設、設備的には資金的な面から更新を

今後も東濃東部の拠点病院として安定的な医療 方検討委員会」において、経営形態や病院機能、 市民病院の建替え等を議論し、その結果を「経営



-気に進めることは難しい

提供体制を維持すべく、「中津川市公立病院あり 強化プラン」につなげると共に経営の改善に努め

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。